

金賞 梅津 学君

北海道大学工学部建築都市学科 catalyst

三菱美唄鉄道跡地という人々の歴史と記憶が重なる場。そこに残されたプラットフォームの跡地、旧駅舎を手がかりに、新たな創造拠点を造ろうとしたミュージアム計画である。ブルーグレーの色調で統一されたプレゼンテーションが美しい。リニアなプラットフォーム跡地と相まったリニアな建築物は、人々の記憶を過去から現在、未来へと繋いでゆくであろう。また、プログラムの説明から、建築空間化とその表現までの流れが、破綻なく美しいシーケンスで詩的に語られているのが見事であった。

(文責：鳥海 良晴)